

## 平成 28 年度 深谷台地域運営協議会の活動報告

1. 2007 年及び 2015 年実施の住民アンケートの結果を受け、防災と見守りに力を入れました。
2. 防災に関して
  - ・福祉団体を通じて、災害への備えについてヒアリングを実施しました。
  - その結果、水や食料を備蓄している家庭と全くしていない家庭がありました。さらに家具の転倒防止は未実施が多くありました。
  - ・2 月 14 日、市民防災センターを 49 名が見学し、実際的な体験学習をしてきました。
3. 高齢者の見守りに関して
  - ・電力の使用量の変化に注目した「見守りネット」の 5 年間にわたる実証実験が、その有効性を確認して、平成 28 年度で終了しました。
  - ・「見守り」の一環として、全戸で活用できる「本人情報シート」を作成しようと、県ハイツの災害対策連絡会議や福祉連絡会、協議会で討議を重ね、統一した形式のシートを完成させました。続く住民への周知や保管方法の案内、配布などは次年度に各自治会が行います。
  - ・県ハイツでは、災害対策連絡会議(自治会、管理組合、防災隊)と福祉連絡会議(ふれあい、ふらっと、夢みん、地域給食の会、ボランティアバンク・えん)と民生委員が一堂に会する「福祉防災連絡会議」を発足させ、本人情報シート作成や連携してできること、情報交換など 3 回話し合いました。
4. 6 年 5 か月続けてきたアフタースクールは、小学校統合に伴い終了しました。  
横浜深谷台小学校としての取り組みは未定です。
5. 毎月行われる定例協議会では、見守りや本人情報シートについての協議、各団体の情報交換などを行いました。
6. 福祉連絡会は毎月会議を開き、地域の福祉課題、見守りや災害への備えなどについて協議しました。
7. エリマネニュースを隔月 6 回発行し、深谷台地域と関係機関に配布しました

### 深谷台地域運営協議会 平成28年度決算報告

<収入>

科目	金額
戸塚区地域運営補助金	600,000
県ハイツ自治会より助成金	100,000
市ハイツ自治会より助成金	60,000
アークプラザ自治会より助成金	20,000
広告料	51,000
印刷機使用料	15,745
雑収入・前年度繰越金他	228,709
収入合計	1,075,454

<支出>

(単位:円)

科目	金額
エリマネニュース発行費	193,927
会議費	200,500
印刷費	77,112
アフタースクール	200,000
活動・研修関係費	111,140
その他	120,218
次期繰越金	172,557
支出合計	1,075,454



K子のどこでも行きます①

# ふらっとステーション・ドリーム

ランキ体験



本年度のエリマネニュース、体験談のコーナーを担当しますK子です。まだ半人前の編集委員ですが、未知の世界をこの目で見て読者の皆様にお伝えできればと思っております。

さて、第一回目は、ドリームハイツ郵便局隣にある“ふらっとステーション”で昼食をいただくというお題です。学生時代も学校が遠く、つい2年前まではお勤めをしていたので近所に知り合いと言える方達もほぼおらず、この地域にあるいろいろな施設を利用はおろか知りえなかったという状態の人間です。そんなこともあり、常連メンバーが大部分と思われる所に1人でお昼ご飯をいただくということすら、私にとってはミッションインポッシブルに近いのでありました。任務でなければ、横目で見ながら通り過ぎることしかできなかったと思います。

4月某日の12:20、意を決して自宅を後にし、ふらっとステーションへ向かいました。まず、メニューチェック、

“春巻き”がメイン、美味しそう(^\_^)です。扉を開けてやや混んでいる室内を見回すと、スタッフの方が



すぐに近づいてきてくださり、声をかけてくださいました。(この先に声をかけてくださることがどれほど新参者にとってありがたいことか。)好きな席について、オーダーをするとほどなく食事が運ばれてきました。スーパー、コンビニのお惣菜、お弁当とは違う、家庭的手作りのお料理はバランスのとれた献立、プロ並みの味で一人暮らしの私には大変リーズナブルな昼食と言えました。



利用者は？と部屋を見渡すと人生の先輩方が大半を占めていました。やはり、外から見て先輩方の姿しか見えないと若造には敷居は相当高くなってしまふのかもしれない。



食事を終えてから、エリマネニュース掲載の件をスタッフの方にお伝えし、責任者である島崎さんからこの施設に関するいろいろな伺うことができました。島崎さんは、11年前にこのふらっとステーションを設立したメンバーの一人で、お料理の指導をなさっていた経験もお持ちで、とても若々しく気さくで包み込んでくださるような暖かさのある方でした。

こちらのスタッフは現在31名で全員が女性のボランティアの方です。メニューはあえて事前公開はせず、この場に来たときに本日のメニューが分かる、というワクワク感を狙っているようです。昼食は30~40人分が用意されているとのこと。人気メニューは揚げ物。月~金はお飯ですが、土曜日はピザ、サンドイッチなどが提供されるそうです。スタッフ、利用者共に、もっと幅広い方々に参加していただき、将来の世代交代を滞りなく行いたいそうです。

最後に私から一言



ドキドキしても勇気を出してドアを開けて入ってみてください。小心者で神経質な私でさえ何とかだったので、今までちょっと利用しなかった方も思い切っておいしい昼食を適度な話声の中で召し上がってみてください。

## 介護保険が改定され、要支援の方たちは地域の支援へ移ります

**介護保険改定に伴い**、横浜市は、今年10月から「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始します。事業実施は住民主体の活動団体に期待されています。この地域で活動している福祉団体のいくつかは、この新しい事業の受け皿になるための方策を関係者と相談しています。

**新しく始まる事業**は4種類で、介護予防にふさわしいプログラムを実施しているサロン等の活動（夢みん、ふらっとステーション）、日常生活支援（ボランティアバンク・えん）、配食支援、見守り支援（えん）です。が、いくつかハードルがあります。すべての対象事業で、介護度が要支援1,2の人が一定数必要なこと、週一回、3時間以上のプログラムでなければならない、など、活動の実態との差が大きいことが課題です。

**この対象事業と認められると**、団体は家賃や活動の補助を受けることができ、活動団体の運営の厳しさが軽減され、コーディネーター費を支払うことができ、活動の継続性が保つ方向に一歩前進できます。

**この事業の目的は**、今後介護が必要になる人が増え、介護保険費用や医療費の不足が明らかのため、地域で自ら健康を守り介護予防に努め、地域住民同士で支え合う地域づくりを、という趣旨です。それは、この地域で目指している「共に支え合いながら、自分らしく暮らし続けたい」という方向に沿っていることでもあります。地域の皆さんにも一緒に考えていただきたい歩みです。

不要の車椅子を譲ってください。

夢みん ふらっとステーション・ドリーム

【連絡先】 夢みん 045-853-0480

ふらっとステーション・ドリーム

045-307-3558



ヘアーサロン

# さんけい

〈定休日〉  
毎週月曜、  
第1、第3火曜日

環状4号線、下和泉信号そば

女性、男性の  
カット、顔そり  
パーマ、カラーなどなど

TEL045-801-8676 P有り

お気軽にお電話ください(予約優先)



広告

—— あとがき ——

高齢者の半数近くが「赤信号？」  
「この数字、なーに」耳を疑った。  
低栄養に関する数字。  
健康の基本は食事。1歩踏み出せば  
身近なところで、食事・お喋りもできる。  
今以上に、地域コミュニティを大事にしたいものだ。(K)

## お住まいの塗装・リフォーム

15の機能性断熱塗材—**ガイナ**

☑冷暖房の効率アップ ☑防音 ☑消臭 ☑防露

マンションの内装にガイナがお勧めです

有限会社幸進建装

住所 横浜市戸塚区俣野町1366

電話 045-852-7005

幸進建装で検索



## ヘルパーさん 急募!!

土日、週2, 3日だけ、他事業所掛け持ちも可

(休まず)



訪問介護事業所

NPO 法人「ふれあいドリーム」

☎ 045-(853)-3705

★ <http://www.ac.auone-net.jp/~fureai-d/> ★

# エリマネ ニュース

第51号

横浜深谷台小学校エリアの広報

発行日：H29年5月31日

発行者：深谷台

地域運営協議会

連絡先：横浜深谷台小学校内

地域交流室

TEL：392-5735

<http://www.drsansan.jp>

## 横浜深谷台小学校開校

4月1日に俣野小学校と深谷台小学校が統合され、横浜市立横浜深谷台小学校が開校いたしました。児童数405名での船出です。

『地域を愛し 地域を創る』を学校教育の中心に据え、ふれあい 学び合い 認め合うことを大切にしたい学校づくりを進めてまいります。今後とも、保護者の皆様地域の皆様のご支援とお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

校長 齋藤 正子

## 今年度、協議会ではこのようなことを行います

### 1. 新たな見守りの仕組みを考えます

今後も安心して住み続けられる地域づくりに向けて「見守り」の方法を考えていきます。まずは、出来るところからと、ボランティアバンク・えんを中心に、駆け付け隊や定期的な訪問などの仕組みを作ろうと動き出しました。

### 2. 福祉の将来プロジェクトがスタートします

地域の福祉団体は長年それぞれ必要な活動を続けてきましたが、相談や情報の窓口を一つにした、センター的機能が必要となってきました。また諸活動の担い手の高齢化も団体の共通した課題です。同時に、安定して活動を継続できる総合的な拠点も求められています。これらについての協議が、当協議会と福祉連絡会でスタートしました。

### 3. 子ども関係の団体を中心に子どもたちのことを話し合います

### 4. 七月オープンの深谷俣野地域ケアプラザと連携していきます。

### 5. 地域の活動団体を紹介したリーフレットの改訂版を作成します



### 6. 「本人情報シート」を配布します

昨年度、関係団体で協議を重ねて作成した「本人情報シート」を、今年度各自治会が準備をして全戸配布します。

このシートは、体調の急変など緊急時に、救急隊などに早急に正確なご自分の情報を伝えて、的確な対処をしてもらうためのシートです。高齢者だけでなく、年齢に関係なく緊急事態は発生します。ぜひ各戸で記入して（冷蔵庫などに）保管してください。

#### 【協議会の構成団体】

市ハイツ自治会、県ハイツ自治会、アークプラザ戸塚自治会、横浜深谷台小学校(PTA も含む)、NPO 法人いこいの家夢みん、NPO 法人ふれあいドリーム、NPO 法人ふらっとステーション・ドリーム、NPO 法人ドリームの丘、ドリームハイツ地域のつどい、地域と子どもネットワーク会議、俣野公園プレイパーク、戸塚区役所